

平成29年度の取組（主なもの）

[]内は平成29年度中小企業活性化施策実施計画に掲載された事業番号

成長分野参入、県民の安全・安心、海外展開

- 新 IoT活用イノベーション創出支援事業[4]
- 滋賀ウォーターバレー・水環境ビジネス推進事業[5]
- 滋賀発成長産業発掘・育成事業[9]
- 医工連携ものづくりプロジェクト創出支援事業[12]

「おいしが うれしが」キャンペーン推進事業[15]

- 海外展開技術支援事業[18]
- 海外展開総合支援事業[19~22]

- 新 FOOD BRAND OH! MI海外プロモーション事業[23]

人材確保・育成、経営安定・向上、創業・新事業創出、需要増進

- 女性の就労サポート事業(滋賀マザーズジョブステーション事業)[27]
- 滋賀発の産業・雇用創出推進プロジェクト[30]
- 新 中小企業働き方改革推進事業[33]
- 若年者就労トータルサポート事業[35]
- 産業人材育成・確保のガットジョブ・プロジェクト事業[36]
- 職業能力開発振興事業費[39]

中小企業振興資金貸付金（制度融資）[52他]
商工会・商工会議所等による経営指導[55他]

- 新 滋賀発創業・新事業促進事業[63]
- SOHOビジネスモデルにおける支援[64]
- 経営革新計画の承認、市場化ステージ補助金[67]

滋賀の感性を伝える「ココクール」事業[74]

各産業分野の事業機会増大

- プロジェクトチャレンジ支援事業[84]
- 工業技術総合センター・東北部工業技術センターによる支援[87・88他]
- 滋賀の地域産業振興総合支援事業[89]
- 近江の地酒普及促進事業[92]

- 新 きらり輝く個店★企業応援事業[95]

ビワイチ観光推進事業[98]

近江牛魅力発信事業[106]

連携推進、周知

- 滋賀県ちいさな企業応援月間事業[110]
- 冊子作成等による中小企業支援施策の周知・広報[111]

小規模企業・中小企業を取り巻く課題、求められる支援内容

平成29年度 中小企業への アンケート等

主な課題①

需要の停滞(売上の停滞・減少)

求められる主な支援内容

- 営業・販売力の強化
- 自社ブランドの強化
- 新商品開発、新事業展開
- 新技術開発、技術力強化
- 海外事業展開
- 創業・新事業創出

主な課題②

人材不足・社員育成

求められる主な支援内容

- 人材の採用、確保
- 社員の育成、スキル向上
- 働きやすい労働環境の促進
- 事業承継、後継者確保
- 魅力の情報発信

平成30年度以降の取組の方向性について

○ 平成30年度中小企業活性化施策実施計画重点事項(案)

① 地域を支える小規模企業者への多面的支援

(取組例)

- ・ 商工会、商工会議所などの支援機関による、小規模企業者に対するきめ細かい経営支援
- ・ 制度融資(資金貸付)による、小規模企業者の多様な資金需要への対応
- ・ ものづくりに携わる小規模企業者の受注体制確立や自社分析支援
- ・ 地場産業、地場産品のブランド力向上をはじめとした戦略的な取組支援
- ・ 近江の地酒にかかる魅力発信や消費拡大への支援
- ・ 滋賀県ちいさな企業応援月間事業による機運醸成

② イノベーション創出、海外展開、創業促進などによる需要開拓支援

(取組例)

- ・ テーマ別講習会の実施、各分野の専門家派遣、展示会への出展補助などによる販路拡大支援
- ・ IoTの活用による新たなサービス・製品の創出と事業化の促進
- ・ 産学官金による新たなイノベーションのビジネスモデル構築等
- ・ ジェトロ滋賀と連携した地場産業・地場産品の海外販路開拓、滋賀県産農畜水産物の海外販路開拓、水環境ビジネスの推進
- ・ 有望なビジネスプランの表彰や事業化に向けた支援

③ 中小企業を支える多様な人材の確保・育成支援

(取組例)

- ・ 関係機関と連携した若者、女性、障害者等の就労・活躍の推進
- ・ 実践的な職業訓練の実施
- ・ 県内製造業の次世代を担う若手設計者を対象とした人材育成プログラムの実施
- ・ 現場で実際に活躍できる数理・情報専門人材の育成
- ・ 働き方改革の推進
- ・ 関係機関との連携による事業承継に対する意識の醸成や個別診断の推進
- ・ 県内企業の魅力発信等による県内就職の促進
- ・ インターンシップや就業体験による勤労観の醸成

- 平成31年度以降の事業における企画立案や予算要求などにも適宜反映